

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第 3 9 号

「わかばクラス」の学習紹介

今回は「わかば5組・藤森級」の学習紹介です。当日は、



東中農園で栽培したカボチャを使い「みそ汁」を作っていました。温かい「みそ汁」を味わいながら5組の皆さんはどんなことを考えていたのでしょうか。栽培の思い出でしょうか、それとも反省点でしょうか。とにかく、自分たちの手で栽培した食材を調理することは、商店で購入した食材を使用して料理を完成させるのとは一味違ったのではないかと思います。食材が手に入るまでには、栽培管理に要する手間と栽培期間という時間がかけていることも実感できたのではないのでしょうか。これらのことを踏まえて、「わかばアカデミア（学習発表会）」においてどのようなまとめをするのか、期待したいところです。

「わかばタイム・畑学習」成果のまとめ方について

総合的な学習の時間で畑作りをする意味は何でしょうか。ただ作物を収穫しただけで畑作りを終えてしまえば、「畑は小学校でもやったし、中学校でやる意味なんて無い」などという批判を受けてもしょうがないところでしょう。そこで、「総合的な学習の時間」において、畑作りをより効果的な学習に結びつける事を考えてみました。確かに畑作りという体験は尊いものですが、それが体験のみで終えてしまえば、学習を深めることは望めないでしょう。

大切なのは、この体験を基に、何を考えていくのかという点です。体験するという行為を通して蓄えた資料は、調べ学習を基にした資料と実感の度合いが異なります。体験を通して蓄えた資料を生かして思考することが重要です。まずは身近なところから。自分たちの耕作経験を通して考える日本の農業の現状や問題点。さらに視野を広げて、世界の農業事情。やがては農業問題から食糧問題まで。食糧危機は、日本で生活していると実感し難い問題ですが、人類に突きつけられた緊急課題です。早急に解決が叫ばれる大問題です。このように学習内容の深化には限りがありません

「わかばタイム」今後の学習予定

12月からはよいよ「わかばタイム」学習のまとめが始まります。まとめることは二つあります。

- 1, 海の教室
- 2, 「わかばクラス」の学習

海の教室についてはA4サイズの用紙に個人毎で海の学習内容をまとめてもらいます。クラスの学習内容については、各クラスにつき模造紙1枚以上でまとめてもらうこととなります。まとめの時期に入ってあわてないように、今から資料の整理や学習結果の収集を始めるようにしましょう。



表紙に寄せて

「芋掘りをしたら、その後は、たき火で焼き芋!」と行きたいところですが、近頃、落ち葉焚きをほとんど見かけなくなりました。しかし、落ち葉焚きを許容できない程までに環境を悪化させてしまった張本人は我々人類です。いつの頃からか、日本でも飲料水をペットボトルに入れて販売している光景が普通になってしまいました。我が国が「名水の国」と称えられたのも今は昔の話です。このように、環境破壊は思いの外進んでいるようです。今回、ほのぼのとした表紙からほど遠い話になってしまいました。でも、生活の中に忍び寄る環境破壊は、見過ごしてはいけな事だと思のです。皆さんは、どう思われますか。

クマさんはやっぱり力持ち!